



2021年5月7日

各位

会社名 キョーリン製薬ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 荻原 豊
(コード番号 4569 東証第1部)
問合せ先 グループ経営企画統轄部 部長 谷藤 功典
電 話 03-3525-4707

通期業績予想の修正について

当社は、最近の業績の動向を踏まえ、2020年11月5日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期の連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	108,000	7,800	8,400	7,200	125.68
今回修正予想(B)	102,900	5,700	6,400	6,100	106.46
増減額(B-A)	-5,100	-2,100	-2,000	-1,100	-
増減率(%)	-4.7	-26.9	-23.8	-15.3	-
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	109,983	7,503	8,175	6,149	107.35

2. 業績予想数値の修正理由

2020年11月5日に公表した連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を一定程度織り込んでおりましたが、想定以上に主力品市場の縮小が継続するとともに新薬群の市場浸透が遅れ、売上予想を下回る見込みとなったことから、売上高を下方修正いたします。

利益面では、売上高が予想を下回ることによる売上総利益の減少が販売費及び一般管理費(研究開発費を含む)の前回予想からの減少を上回る見込みとなったことから、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を下方修正いたします。

なお、2020年5月12日に公表しました配当予想(年間75円/株)の変更はございません。

以上

(注)上記予想は本資料発表時、入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は本予想額と異なる可能性があります。

補足資料

1. 連結売上高について

(単位:億円)

	2020年3月期 (実績)	2021年3月期	2021年3月期 (今回発表予想)	対前年 増減額	対当初予想 増減額
売上高	1,100	1,080	1,029	-71	-51
新医薬品等(国内)	775	738	697	-78	-41
新医薬品(海外)	15	11	9	-6	-2
後発医薬品	310	330	321	+11	-9

2. 主要製品の売上高について

(単位:億円)

	2020年3月期 (実績)	2021年3月期	2021年3月期 (今回発表予想)	対前年 増減額	対当初予想 増減額
新医薬品等(国内)					
フルティフォーム	146	145	133	-13	-12
デザレックス	26	75	57	+31	-18
ベオーバ	43	73	73	+30	0
ラスビック錠	11	17	8	-3	-9
ペンタサ	133	125	127	-6	+2
ウリトス(自社販売分)	58	22	23	-35	+1
ナゾネックス	60	24	27	-33	+3
キプレス(成人製剤)	53	38	39	-14	+1
キプレス(小児製剤)	65	43	43	-22	0
ムコダイン	58	33	32	-26	-1
ミルトン	24	23	21	-3	-2
ルビスタ	15	21	20	+5	-1
後発医薬品					
モンテルカスト錠「KM」※1	115	102	107	-8	+5
モメタゾン点鼻液「杏林」※2	28	35	38	+10	+3
イミダフェナシン錠「杏林」※3	—	8	7	+7	-1

※1 キプレスのオーソライズド・ジェネリック (AG)

※2 ナゾネックスのオーソライズド・ジェネリック (AG)

※3 ウリトスのオーソライズド・ジェネリック (AG)